

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20152016000201	科目番号 / Subject code	20160002
科目ナンバリングコード / Numbering Code	MEME 16021_902		
授業科目名 / Subject	細胞生物学 / Cell Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	永山 雄二 / Nagayama Yuuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	永山 雄二 / Nagayama Yuuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	永山 雄二 / Nagayama Yuuji, 李 桃生 / Tao-Sheng Li, 吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学科1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nagayama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	原爆後障害医療研究所		
担当教員TEL/Tel	095-819-7173		
担当教員オフィスアワー / Office hours	毎日、7:30-8:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	生物学や生命科学、ひいては医学の基礎となる「細胞の構造と機能」・「細胞分裂と染色体遺伝学」・「遺伝子の構造と機能」・「遺伝と遺伝病」、さらには基礎と臨床の接点として「がんの基礎」を学び理解する講義である。医学部専門講義の1つとして、基礎知識・思考能力を身に付ける。同時に医学英語に親しみ、英語専門用語も身に付ける。		
授業到達目標 / Goal	「細胞の構造と機能」、「細胞分裂と染色体遺伝学」、「遺伝子の構造と機能」、「遺伝と遺伝病」、「がんの基礎」について基礎的な事項を英語専門用語を用いて説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	細胞、DNA、染色体、遺伝、遺伝子、がん		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Human Biology (McGraw-Hill Int Ed)、12版		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	出席2/3以上が必要。 中間試験2回平均60/100点以上で合格、30点未満で不合格。30~60点は再試験を行い、60点以上で合格。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	原則すべての講義に出席できること。		
学生へのメッセージ / Message for students	医学専門科目のための入門講義です。基礎知識をしっかりと身につけて、将来の専門科目に備えてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	総論、Human Biology第3章(永山)(4/9)		
第2回	医学英語(4/16)		
第3回	医学英語(4/23)		
第4回	Human Biology第3章(永山)(4/30)		
第5回	Human Biology第3章(永山)(5/7)		
第6回	Human Biology第18章(李)(5/14)		
第7回	Human Biology第18章(李)(5/21)		
第8回	中間試験(5/28)		
第9回	Human Biology第21章(永山)(6/4)		
第10回	Human Biology第21章(永山)(6/11)		
第11回	Human Biology第19章(李)(6/18)		
第12回	Human Biology第19章(李)(6/25)		
第13回	Human Biology第20章(吉浦)(7/2)		
第14回	Human Biology第20章(吉浦)(7/9)		
第15回	中間試験(7/16)		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20152016000301	科目番号 / Subject code	20160003
科目ナンバリングコード / Numbering Code	MEME 16031_933		
授業科目名 / Subject	医学統計学 / Medical Statistics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	本多 正幸 / Honda Masayuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	本多 正幸 / Honda Masayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	本多 正幸 / Honda Masayuki, 近藤 久義 / Kondou Hisayoshi, 三根 真理子 / Mine Mariko		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[医学] CBT室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部 1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	m-honda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医療情報学		
担当教員TEL / Tel	095-819-7536		
担当教員オフィスアワー / Office hours	16:30-17:30 火曜日		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>医学統計特有の手法も存在するが、まず統計学の基本を理解することが肝要である。確率などの数学的な素養があることを前提とするが、1年次であることを考え基本的な概念、考え方を理解することを目標とし、高次学年や将来における医学研究の基礎力となる統計学の知識の習得を目指す。また、IT化の時代であり、コンピュータ演習を通して統計学およびデータ分析の基礎を学習する。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>以下の2点を到達目標とする。</p> <p>1) 科学的方法における統計学の位置付けを理解し、記述統計学、確率分布の概念と代表的分布、母集団と標本における推測統計学などを中心に学習し、基礎的事項を説明できる。</p> <p>2) 医学データ、臨床データ等を用いた演習を通して、基礎的事項の理解を深め、データ見る目を養うとともに基本的なデータ解析ができる。</p>		
授業方法 (学習指導法) / Method	<p>講義形式と演習形式 (医学部 C B T 室)</p> <p>担当:</p> <p>医療情報学: 本多正幸 (1回目 ~ 5回目)</p> <p>原研情報: 三根真理子 (6, 7回目, 13 ~ 15回目)</p> <p>原研情報: 近藤久義 (8回目 ~ 12回目)</p> <p>なお、講義順、担当は変更する場合あり</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>統計学の基礎的事項を講義、演習を通して理解させる。講義は、原則プレゼンソフトにより行うが、参考書等に掲載されている医学論文掲載データ等を実例として紹介する。また、演習は各自PCを用いて、表計算ソフト、統計解析ソフトなどの実習を通して統計解析手法を体験する。</p>		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書は特にしてしない。教材、資料等は授業中に配布する。また、下記の本を参考書として指定するが、特に購入する必要はない。また、別の参考書等は適宜紹介する。</p> <p>(参考: 「論文が読める! 早わかり統計学 - 臨床研究データを理解するためのエッセンス -」(第2版)、メディカル・サイエンス・インターナショナル)</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期考査60%、授業中の課題に対する取り組み状況20%、レポート20%		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション (目的・概要、研究デザイン (相対危険度とオッズ比))		
第2回	記述統計 (平均、中央値、SD、SE)		
第3回	確率・確率分布 (確率とベイズの定理、臨床判断学)		
第4回	確率・確率分布 (正規分布と2項分布)		

第5回	記述統計（相関と回帰）
第6回	演習
第7回	演習
第8回	母集団と標本（5回目までの補足を含む）
第9回	推測統計（推定、区間推定、t分布）
第10回	推測統計（仮説検定の概念、標本の大きさの計算）
第11回	推測統計（1標本検定と2標本検定）
第12回	推測統計（分割表検定、分散分析と多重比較）
第13回	演習
第14回	演習
第15回	まとめ
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20152016000601	科目番号 / Subject code	20160006
科目ナンバリングコード / Numbering Code	MEME 16061_921		
授業科目名 / Subject	医学史・原爆医学と長崎 / Medical History, Atomic Bomb Disease and Nagasaki		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高村 昇 / Takamura Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高村 昇 / Takamura Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高村 昇 / Takamura Noboru, 中島 正洋 / Nakashima Masahiro, 宮崎 泰司 / Miyazaki Yasushi, 山下 俊一 / Yamashita Shiyuniti		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年・前期		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takamura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	国際保健医療福祉学研究分野 (原研国際)		
担当教員TEL/Tel	095-819-7170		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日午後5時~6時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業のねらいは、長崎における西洋医学教育の歴史について、さらには放射線被ばくによる健康影響の実態を学び、長崎大学医学部で学ぶことの意義を再認識し、原爆被爆者、さらには世界のヒバクシャについての最新の知見に触れることにあります。そのために、まずは西洋医学伝来と放射線、放射線被ばくについての基礎知識を整理し、原爆の実相、そして放射線被ばくによる急性影響と晩発性影響 (後障害) を、血液疾患や甲状腺疾患などを中心に学びます。さらには、昨年発生した福島第一原子力発電所の発生にあたって実際に長崎大学から医療支援にあたった医師による、事故対策の実際についての講義も予定しています。		
授業到達目標 / Goal	1. 長崎における西洋医学の歴史について概説できる。 2. 放射線についての基礎的事項について、概説することができる。 3. 原爆被爆者の健康影響について概説することができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	各教官による講義を中心に進めていくが、講義の終わりには随時質問を受け付けるので、積極的に質問すること。 また、最終講義時にはまとめと質疑の時間を別途設けるものとする。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	医学史 原爆 放射線 チェルノブイリ 福島 被ばく医療		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。必要に応じて、講義の際に資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	テーマに従い、レポートを提出することによって評価を行う。		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://abomb.med.nagasaki-u.ac.jp/abdi/index.html		
学生へのメッセージ / Message for students	事前に良順会館、原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、永井隆記念館などを訪問して自己学習をしておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4/10金 オリエンテーション 1. 医学史とは? 原爆医療とは? (原研国際・高村)		
第2回	4/17金 医学史と長崎(1) 2. ツェンペリー、シーボルトとモーニッケの医学と博物学 (長崎原爆病院・相川)		
第3回	4/24金 医学史と長崎(2) 3. 養生所と日本の近代医学 (長崎原爆病院・相川)		
第4回	5/1金 医学史と長崎(3) 4. 南蛮医学と紅毛医学 (ヴォルフガング・ミヒェル)		
第5回	5/8金 医学史と長崎(4) 5. 原爆と医師: 永井隆はじめ原爆医療の先駆者 (原研医療・山下)		
第6回	5/15金 原爆被爆者医療(1) 6. 原爆の造血に対する影響原研内科・宮崎)		
第7回	5/22金 原爆被爆者医療(2) 7. 被爆者腫瘍の病理疫学 (原研病理・中島)		
第8回	5/29金 核兵器の非人道性 (1) 8. 国際人道法と核兵器 (RECNA・広瀬)		

第9回	6/5金 原爆被爆者医療(3) 被爆者医療行政の実際(厚生労働省・山本)
第10回	6/12金 原爆被爆者医療(4) 10. 被爆者の健康管理(原研情報室・横田)
第11回	6/19金 核兵器の非人道性(2) 11. 核兵器の非人道性をめぐる国際的な動向(RECNA・中村)
第12回	6/26金 放射線事故対策(1) 12. 緊急被ばく医療(国際ヒバクシャ医療センター・宇佐)
第13回	7/3金 放射線事故対策(2) 13. 核実験、原子力災害と健康影響(原研国際・高村)
第14回	7/10金 放射線事故対策(3) 14. 福島第一原子力発電所事故対応(福島県立医科大学・大津留)
第15回	7/17金 まとめ 15. 講義まとめ、質疑応答(原研国際・高村)
第16回	